


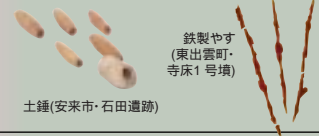
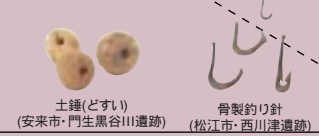
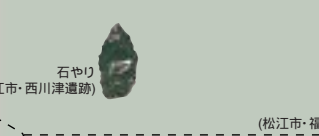
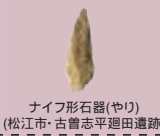














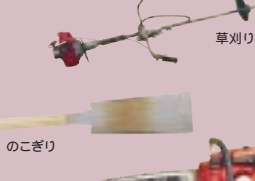
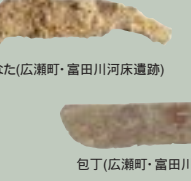

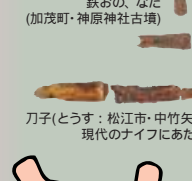










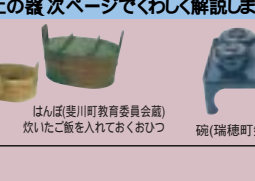
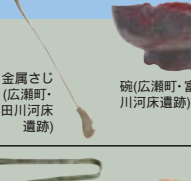














ひと目でわかる道具の歴史

ひとまな道具の歴史

人類の誕生以来、人はさまざまな道具を開発してきました。石や木や貝など自然の産物に働きかけ、生活の中に取り入れることから、人類の道具とのつきあいは始まります。現代に至るまでの先人の知恵と工夫の歴史をたどり、現代の道具の源流を探ってみましょう。
 ()内は出土場所

鉄の道具を中心とする時代				石の道具を中心とする時代			
近・現代	中・近世	古代	古墳時代(1400~1700年前)	弥生時代(1700~2300年前)	縄文時代(2300~1万3000年前)	旧石器時代(1万3000年以上前)	
射つ  猟銃 (窪田俊雄氏蔵)	 拳銃(モデルガン)		 土鏢(安来市・石田遺跡) 鉄製やす(東出雲町・寺床1号墳) 鉄鏢(加茂町・神原神社古墳) 短甲(石見町・中山B1号墳) 鉄剣(東出雲町・寺床1号墳)	 土鏢(どすい)(安来市・門生黒谷川遺跡) 骨製釣り針(松江市・西川津遺跡) 石剣(松江市・西川津遺跡) 石鏢(安来市・平ノ1遺跡) 鉄鏢(安来市・門生黒谷川遺跡)	 石やり(松江市・西川津遺跡) 石やり(松江市・福富11遺跡) ナイフ形石器(やり)(松江市・古曾志平遺田遺跡) 石鏢(せきぞく・瑞穂町・堀田上遺跡) 弓矢の先につける 木製やす(松江市・西川津遺跡)	 骨製やす(松江市・西川津遺跡) 石鏢(せきすい: 松江市・西川津遺跡) 網に結びつけ、おもりとして使う	狩りや漁の道具 突く 射る 漁
 トラクター	 すき先(広瀬町・富田川河床遺跡) 熊手(くまで)(広瀬町・富田川河床遺跡)	 すき先(安来市・徳見津遺跡)	 田下駄(松江市・神田遺跡)	 木製くわ(松江市・西川津遺跡) 鉄製くわ先(安来市・竹ヶ崎遺跡)	 木製なすび形すき(松江市・上小紋遺跡) 打製石斧(せきふ)(出雲市・三田谷1遺跡)		農具 掘る・耕す 摘む・刈る
 コンバイン	 鉄製鎌(広瀬町・富田川河床遺跡)	 鉄製鎌(安来市・高広遺跡)	 鉄製鎌(安来市・竹ヶ崎遺跡)	 石包丁(松江市・西川津遺跡)	 石包丁(安来市・島田黒谷1遺跡)		加工する道具 切る・削る・研ぐ
 草刈り機 のこぎり チェーンソー 包丁・ナイフ	 なた(広瀬町・富田川河床遺跡) 包丁(広瀬町・富田川河床遺跡) 木挽(こびき)のこぎり(瑞穂町郷土館蔵) まさかり(広瀬町・富田川河床遺跡)	 と石(頼原町・森遺跡)	 鉄おの、なた(加茂町・神原神社古墳) 刀子(とうす: 松江市・中竹矢1号横穴墓) 現代のナイフにあたる やりがんな(加茂町・神原神社古墳) のみ(加茂町・神原神社古墳)	 と石(安来市・柳川遺跡) 鉄おの(安来市・竹ヶ崎遺跡)	 削器(さつき)(松江市・西川津遺跡) 石さじ(松江市・古曾志平遺田遺跡) 動物の皮をなめす	 削器(さつき)(安来市・カンボウ遺跡) 動物の皮を切る	つぶす
 ミキサー ジューサー すり鉢	 石臼(いしうす)(広瀬町・富田川河床遺跡)			 磨石(すりいし)と石皿(安来市・猫ノ谷遺跡)	 磨石(すりいし)と石皿(頼原町・板屋川遺跡)		盛りつける道具
 はん(飯)斐川町教育委員会蔵 炊いたご飯を入れておくひつ 碗(瑞穂町郷土館蔵)	 金属さじ(広瀬町・富田川河床遺跡) 碗(広瀬町・富田川河床遺跡) 仏具(コップ)(広瀬町・富田川河床遺跡)			 木製さじ(松江市・西川津遺跡) 木製ひしゃく(松江市・西川津遺跡) 木製鉢(はち)(松江市・西川津遺跡)			その他の道具
 アイロン(瑞穂町郷土館蔵) わらくつ(斐川町教育委員会蔵)	 毛抜き(広瀬町・富田川河床遺跡) 釘(広瀬町・富田川河床遺跡) 下駄(広瀬町・富田川河床遺跡) キセル(広瀬町・富田川河床遺跡) 鉄鍋(広瀬町・富田川河床遺跡)	 鉄鍋(浜田市・古市遺跡)	 きり(加茂町・神原神社古墳)	 骨製かんざし(二摩町・坂瀬遺跡) アワビおこし(松江市・西川津遺跡) アワビを捕るのに使う 土笛(つちぶえ)(松江市・タテチョウ遺跡)	 耳栓(頼原町・森遺跡)		

◀土の寝次ページでわく解説します▶